

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 34 号

第 34 週(8月20日～8月26日)

発行年月日:平成19年(2007年) 8月31日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症の発生は持続 感染症発生動向調査におけるウイルス病原体情報

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりかなり多くなっています。大部分の疾患で先週より増加または横ばいとなっていますが、今週減少した疾患はRSウイルス感染症、手足口病、百日咳、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、先週と同様に咽頭結膜熱(プール熱)では大津および東近江に、ヘルパンギーナでは長浜および高島に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で2名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名の届出がありました。

感染症発生動向調査におけるウイルス病原体情報(検体採取月:平成19年1月～7月)

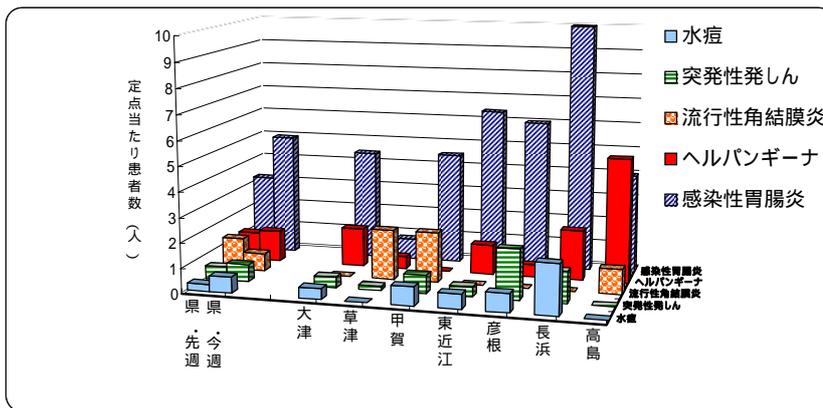
疾患名	検出されたウイルス型	検体由来人数							材料
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH3型	7	10	11	3				咽頭ぬぐい液
	インフルエンザウイルス B型	3	3	2	1				
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルス A10型						2		咽頭ぬぐい液
無菌性髄膜炎	コクサッキーウイルス B5型	1							髄液、尿

上記の表に示した疾患以外の病原体情報

1～7月に、病原体定点において採取された上気道炎患者の咽頭ぬぐい液からアデノウイルス2型が1件検出されています。また、胃腸炎患者および嘔吐患者の糞便からノロウイルスが各1件(計2件)検出されています。

* 滋賀県ウイルス検出情報の詳細については、滋賀県感染症情報センターのホームページ(ウイルス検出情報)に掲載しています。
http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/bisei/kansen-c/byougentai_jyouhou.html

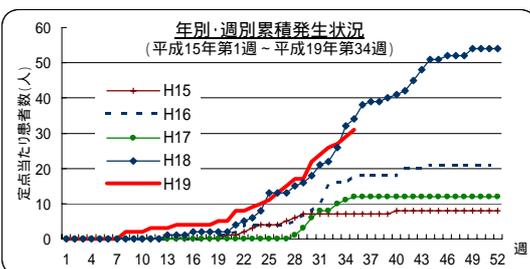
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第34週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎、突発性発しん、水痘の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は長浜で先週の約10倍増となっています。ヘルパンギーナは高島で、水痘は長浜で多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別累積発生状況(平成19年第1～34週、H19.1.1～H19.8.26)



平成19年第1～34週における週別の累積発生状況はグラフに示すとおりで、昨年に次いで多くなっています。今後も、予防のための注意が必要です。

予防のための注意:

- ・食肉など加熱して食べる食品は十分に加熱し、特に、生レバーやユッケなど、食肉を生で食べることは避けましょう。
- ・ヒトからヒトへの二次感染を予防しましょう。(手洗いの徹底、保育施設等における簡易プールの衛生管理の徹底など)

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (34週)	全国 (34週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	2	109	8,155	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	9	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	338	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	2	29	2,479	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	39	2	70
	A型肝炎	0	0	106	21	316
	デング熱	0	1	49	0	57
	マラリア	0	1	29	0	61
	レジオネラ症	0	6	398	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	514	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	149	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	97	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	64	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	6	935	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	33	1	87
	梅毒	0	0	429	4	625
	破傷風	0	0	62	1	115
	急性脳炎	0	2	161	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第34週(8/20～8/26) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 274例	三類感染症: 細菌性赤痢 17例	腸管出血性大腸菌感染症 181例	腸チフス 2例	四類感染症: E型肝炎 1例	四類感染症: デング熱 3例	レジオネラ症 9例	五類感染症: アメーバ赤痢 12例	ジアルジア症 1例	梅毒 11例	破傷風 3例	急性脳炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 14例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例	クリプトスポリジウム症 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	ウイルス性肝炎 7例
-------------	----------------	------------------	------------------	---------	----------------	----------------	-----------	-------------------	-----------	--------	--------	---------	-----------------------	--------------------	----------------	-------------------	------------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第29～34週、7/16～8/26)

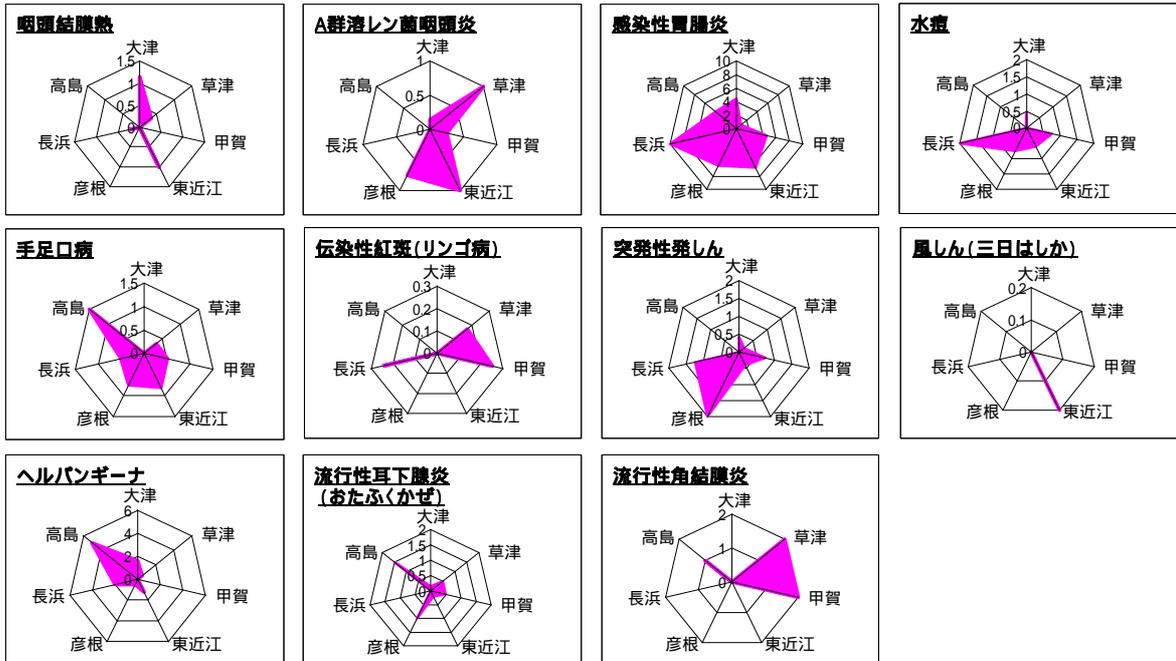
疾患名	定点当たり患者数										
	前週より増加					前週と同じ		前週より減少			
	29週 (7/16～)	30週 (7/23～)	31週 (7/30～)	32週 (8/6～)	33週 (8/13～)	34週 (8/20～)	30	31	32	33	34
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0.03	0	0.03	0.13	0.06	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.81	0.91	0.69	0.47	0.22	0.50					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0.50	0.31	0.59	0.28	0.50					
感染性胃腸炎	4.84	3.97	4.34	4.69	3.16	4.94					
水痘	0.91	0.78	0.66	0.56	0.28	0.63					
手足口病	1.22	1.09	1.09	0.84	0.56	0.50					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.53	0.75	0.53	0.47	0.09	0.09					
突発性発しん	0.53	0.69	0.69	0.50	0.53	0.69					
百日咳	0	0	0	0	0.03	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	4.84	4.88	3.03	2.41	1.13	1.25					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.59	0.63	0.28	0.16	0.44					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.29	0.57	0	0.29	1.29	0.71					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0.29	0	0.57	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第34週、8/20～8/26)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.50	1.14	0.33	0	1.00	0	0.25	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	1.00	0.25	1.00	0.75	0	0	■
感染性胃腸炎	4.94	4.43	0.83	4.50	6.40	6.00	10.00	4.00	■
水痘	0.63	0.43	0	0.75	0.60	0.75	2.00	0	■
手足口病	0.50	0	0.33	0.50	0.80	0.75	0.50	1.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.17	0.25	0	0	0.25	0	■
突発性発しん	0.69	0.43	0.17	0.75	0.40	2.00	1.25	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	1.25	1.57	0.50	0	1.20	0.50	2.00	5.00	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.14	0.50	0.50	0.20	1.00	0	1.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.71	0	2.00	2.00	0	0	0	1.00	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4 5
 定点当たり患者数(人)

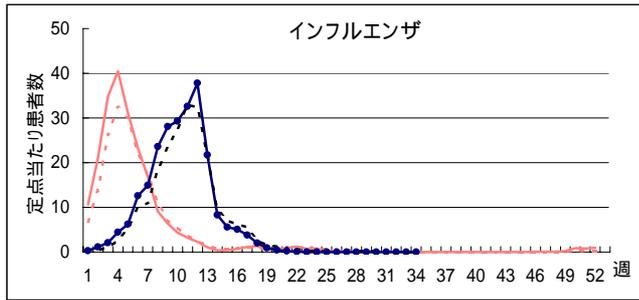
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



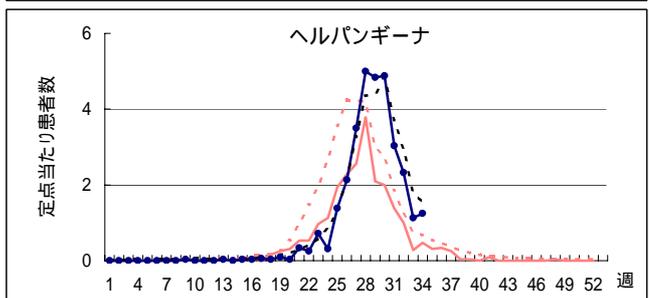
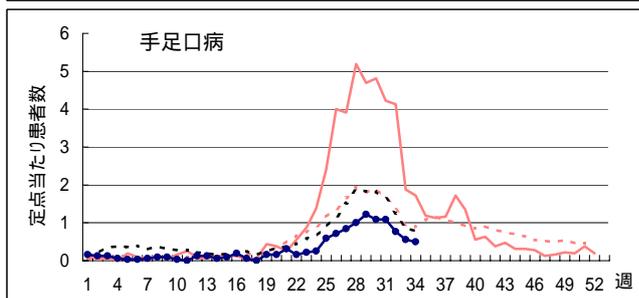
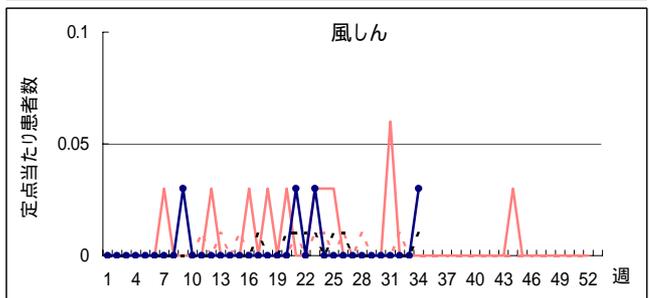
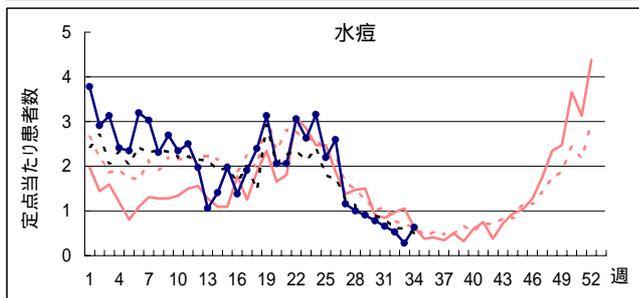
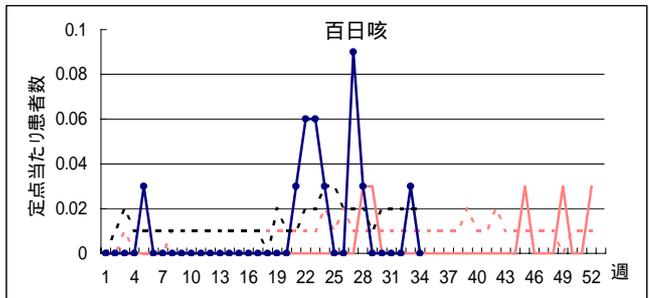
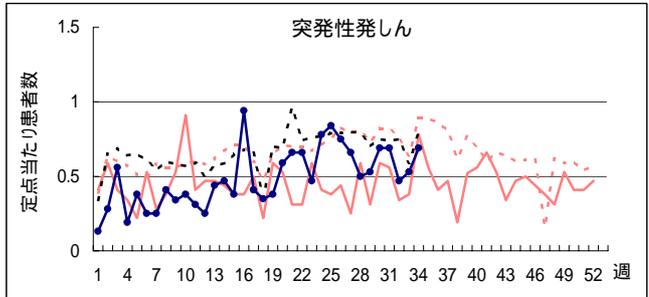
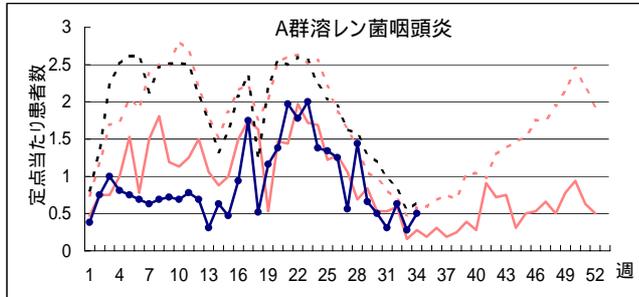
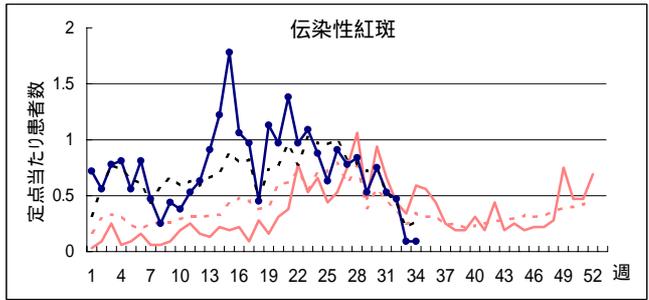
今週の発生状況：

- 咽頭結膜熱-----大津および東近江における定点当たり患者数が警報継続基準値(0.10)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。特に、大津では先週よりかなり多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----東近江以外で先週より増加しています。特に、長浜で激増(約10倍増)しています。また、東近江では先週より減少していますが引き続き多い状態となっています。
- 水痘-----長浜で先週よりかなり多くなっています。
- 伝染性紅斑-----県全体では減少傾向を示し、昨年同時期よりかなり少なくなっています。
- ヘルパンギーナ-----大津および高島で先週より多くなっています。また、長浜および高島では警報継続基準値(2.00)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。
- 流行性耳下腺炎-----長浜からの報告はありませんが、他の保健所管内の定点当たり患者数は先週より微増となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第34週、H19.1.1～H19.8.26)



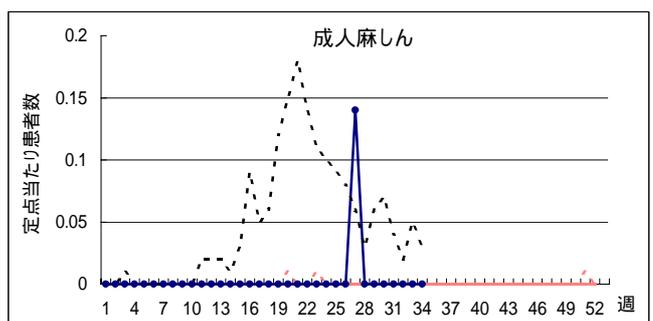
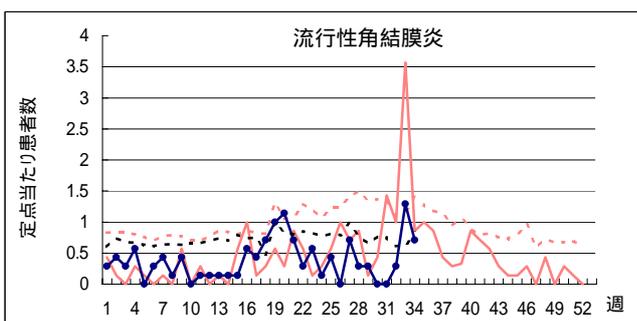
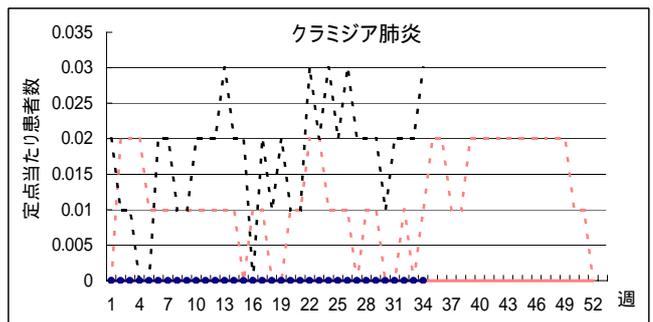
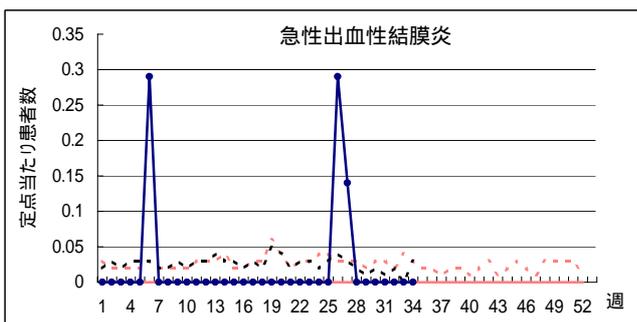
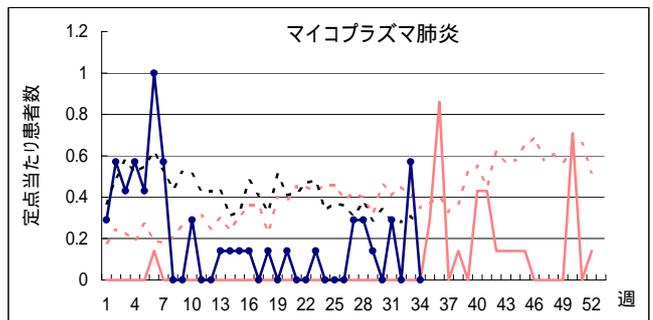
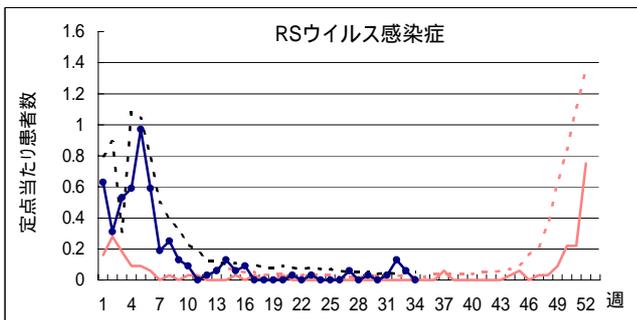
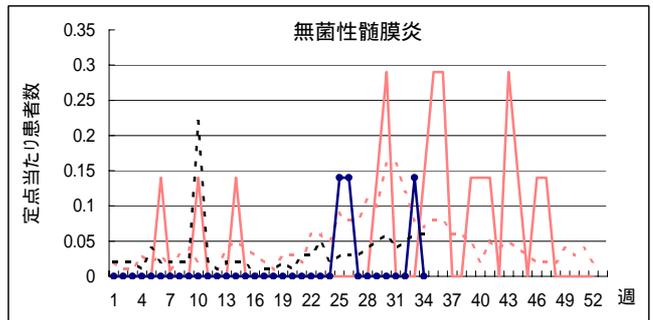
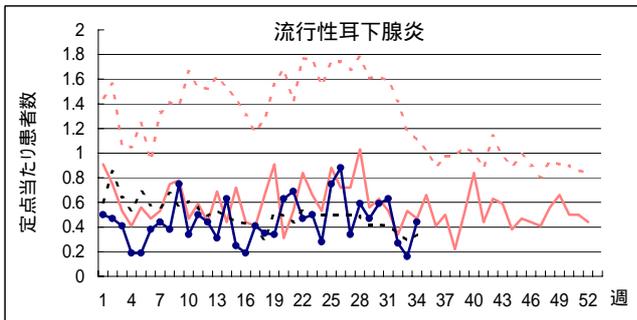
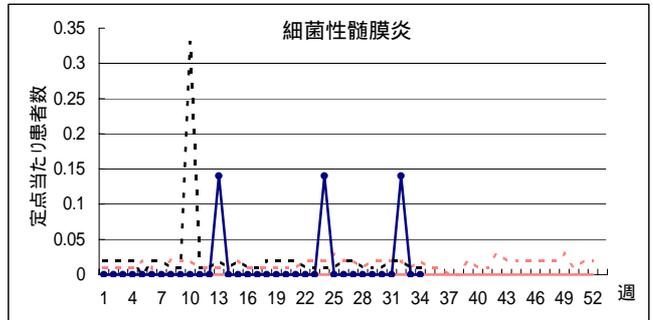
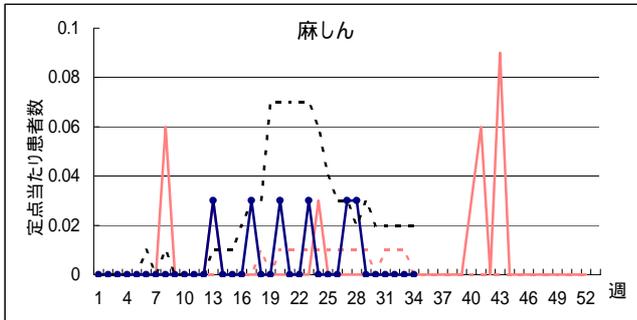
H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第34週、H19.1.1～H19.8.26)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -



滋賀県ウイルス検出情報

- ・2007年6月～7月に採取されたヘルパンギーナ患者4名からコクサッキーウイルスA10型が、7月に採取された1名からコクサッキーウイルスA6型が分離されました。滋賀県感染症発生動向調査における定点あたり患者数によると、ヘルパンギーナの患者報告は2007年第25週(6月中旬)から急増し、第28週(7月初旬)に定点あたり5.0人とピークを示し、以降減少傾向ですが、今後の流行に注意が必要です。
- ・2007年6月および7月に採取された手足口病患者から、コクサッキーウイルスA10型およびコクサッキーウイルスA16型が各1名から分離されています。滋賀県感染症発生動向調査における定点あたり患者数によると、今シーズンの手足口病の流行は昨シーズンよりも小規模ですが、今後も注意が必要です。
- ・滋賀県における麻疹の発生状況について、平成19年8月5日現在の報告をもって全数把握調査は終了しましたが、滋賀県感染症情報センターによると、平成19年8月5日現在の麻疹患者報告数は22名(3月1名、4月3名、5月3名、6月9名、7月5名および8月1名)でした。

表 原因ウイルス別・月別集団嘔吐下痢症事例

集団発生事例総数	2006年		2007年							
	合計	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
事例総数	58	35	7	11	2	6	3	2	1	3
A群ロタウイルス陽性事例数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス陽性事例数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス陽性事例数	41	20	5	10	2	2	1	0	0	0
サポウイルス陽性事例数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検体数	372	212	31	100	6	37	7	7	8	16
ノロウイルス陽性数	178	102	21	64	4	10	3	0	0	0
サポウイルス陽性数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

検体材料:糞便

表 インフルエンザ集団発生事例

採取日	検体数	インフルエンザウイルス	
		分離人数	型
2007年1月	7	2	AH3型

検体材料:うがい液

集団事例の検体材料は県内保健所で採取されたものです。

表 検体採取月別ウイルス検出状況

ウイルス型	検出数	2006年			2007年									
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
コクサッキー ウイルス	A6型	1											1	
	A10型	5									3		2	
	A16型	3			1								2	
	B2型	1	1											
	B4型	1	1											
	B5型	3	2				1							
エコーウイルス	18型	12	3	7	2									
	30型	1	1											
ポリオウイルス	2型	1							1*					
アデノウイルス	1型	5		1	3		1							
	2型	5					1	1		2		1		
	3型	6	2		1				1			2		
	5型	1					1							
	not typed	2		1								1		
単純ヘルペスウイルス	2				2									
ロタウイルス	A群	12			1	1			5	5*				
ノロウイルス		42		1	27	12		1			1			
インフルエンザ ウイルス	AH1型	2							1	1				
	AH3型	31					7	10	11	3				
	B型	12	1			2	3	3	2	1				
計		148	11	10	35	17	14	15	19	12	3	7	5	0

本データは滋賀県衛生科学センターが実施しているウイルス調査から得られたデータをまとめたものです。

対象：県内 12 の医院および病院の主として小児科から提供を受けた材料

検体採取期間：2006.9.1 - 2007.8.24

材料：咽頭拭い液、うがい液、糞便、髄液、尿

方法：培養、抗原あるいは核酸の検出

*：同一人から検出.ポリオウイルスについてはワクチン接種確認済み

表 検体提供者の年齢別ウイルス検出状況

ウイルス型	検出数	年 齢					不詳	
		0	1-5	6-10	11-15	16-		
コクサッキー ウイルス	A6型	1		1				
	A10型	5	3	2				
	A16型	3		3				
	B2型	1		1				
	B4型	1		1				
	B5型	3	1		1		1	
エコーウイルス	18型	12		6	5		1	
	30型	1	1					
ポリオウイルス	2型	1	1*					
アデノウイルス	1型	5	1	4				
	2型	5	2	3				
	3型	6	1	2	3			
	5型	1		1				
	not typed	2	1	1				
単純ヘルペスウイルス	2		1		1			
ロタウイルス	A群	12	5*	7				
ノロウイルス		42	8	27	5	1	1	
インフルエンザ ウイルス	AH1型	2		1	1			
	AH3型	31		12	2	4	12	1
	B型	12		2	5	4	1	
計		148	24	75	22	10	13	4

本データは滋賀県衛生科学センターが実施しているウイルス調査から得られたデータをまとめたものです。

対象：県内 12 の医院および病院の主として小児科から提供を受けた材料

検体採取期間：2006.9.1 - 2007.8.24 材料：咽頭拭い液、うがい液、糞便、髄液、尿

方法：培養、抗原あるいは核酸の検出 *：同一人から検出。ポリオウイルスについてはワクチン接種確認済み

表 検体提供者の臨床診断・症状別ウイルス検出状況

ウイルス型	総計	臨床診断・症状別																							
		咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	無菌性髄膜炎	インフルエンザ	ヘルペス口内炎・歯肉炎	急性胃腸炎	上気道炎	下痢	嘔気/嘔吐	胃腸症状	口内炎	発疹	水疱	結膜炎/眼症状	筋肉痛/関節痛	頭痛	痙攣	発熱のみ	シヨック症状	その他	基礎疾患あり	不詳
コクサッキー ウイルス	A6型	1			1																				
	A10型	5		1	4				2				2		1										
	A16型	3		2					2				2	1											
	B2型	1									1														
	B4型	1							1																
	B5型	3				3																			
エコーウイルス	18型	12				10					2							1		1				1	
	30型	1												1											
ポリオウイルス	2型	1	1*							1															
アデノウイルス	1型	5		1					2	1				1							1				
	2型	5		1					3	1				1											
	3型	6	1						4		1			1		1						1			
	5型	1							1																
	not typed	2		2							2														
単純ヘルペスウイルス		2						1												1					
ロタウイルス	A群	12	10*							9	6														
ノロウイルス		42	15						23	1	35	35	2							5		1	1	5	
インフルエンザ ウイルス	AH1型	2					2			1	1	1													
	AH3型	31					29			23	1	1					14	10							
	B型	12					12			12	1	2					3	2							
計	148	1	30	3	5	13	43	1	23	52	53	48	2	4	5	1	1	17	13	5	3	1	2	5	1

臨床診断および症状は重複する

本データは滋賀県衛生科学センターが実施しているウイルス調査から得られたデータをまとめたものです。

対象: 県内 12 の医院および病院の主として小児科から提供を受けた材料

検体採取期間: 2006.9.1 - 2007.8.24

材料: 咽頭拭い液、うがい液、糞便、髄液、尿

方法: 培養、抗原あるいは核酸の検出

*: 同一人から検出。ポリオウイルスについてはワクチン接種確認済み